

高齢者等の避難の実効性確保のための研修会のアンケート結果概要

- 実施日時：令和3年10月1日（金）
- 実施場所：石川県地場産業振興センター 本館大ホール
- 回答人数：343名（参加者：367名）

問1 あなたの性別等をお聞かせください。

(1) 性別

区分	回答数	割合
女性	124	36.2%
男性	199	58.0%
無回答	20	5.8%
総計	343	

(2) 年齢

区分	回答数	割合
20代	5	1.5%
30代	22	6.4%
40代	63	18.4%
50代	50	14.6%
60代	118	34.4%
70代以上	84	24.5%
無回答	1	0.3%
総計	343	

(3) 職業等

区分	回答数	割合
会社員	19	5.5%
公務員	40	11.7%
消防関係	7	2.0%
学校関係	4	1.2%
幼稚園・保育園関係	1	0.3%
医療関係	7	2.0%
福祉関係	104	30.3%
自営業	17	5.0%
無職	83	24.2%
その他	53	15.5%
無回答	8	2.3%
総計	343	

※その他

民生委員	16
自治会や自主防災組織	15
ボランティア	3

(4) 防災士資格の有無

区分	回答数	割合
有	188	54.8%
無	100	29.2%
無回答	55	16.0%
総計	343	

問2 この研修会を何でお知りになりましたか。

区分	回答数	割合
チラシ（県、市町からの案内含む）	235	68.5%
県ホームページ	17	5.0%
知人から	31	9.0%
その他	57	16.6%
無回答	3	0.9%
総計	343	

※その他

社会福祉協議会や民生児童委員協議会など	26
福祉施設の管理者	12
町会や公民館、自主防災組織	11

問3 講演内容はいかがでしたか。

(1) 高齢者等の避難支援をはじめとした地域防災力の向上について

区分	回答数	割合
わかりやすかった	107	31.2%
どちらから言えばわかりやすかった	97	28.3%
どちらとも言えない	84	24.5%
どちらから言えばわかりにくかった	42	12.2%
わかりにくかった	7	2.0%
無回答	6	1.7%
総計	343	

(2) 災害時の福祉支援について

区分	回答数	割合
わかりやすかった	100	29.2%
どちらから言えばわかりやすかった	94	27.4%
どちらとも言えない	97	28.3%
どちらから言えばわかりにくかった	43	12.5%
わかりにくかった	5	1.5%
無回答	4	1.2%
総計	343	

(3) 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定及び避難訓練の実施について

区分	回答数	割合
わかりやすかった	93	27.1%
どちらから言えばわかりやすかった	94	27.4%
どちらとも言えない	96	28.0%
どちらから言えばわかりにくかった	46	13.4%
わかりにくかった	9	2.6%
無回答	5	1.5%
総計	343	

問3 講演内容はいかがでしたか。

(4) 福祉防災元年 ～高齢者、障害者等の新たな避難支援制度～

区分	回答数	割合
わかりやすかった	272	79.3%
どちらとも言えばわかりやすかった	40	11.7%
どちらとも言えない	15	4.4%
どちらとも言えばわかりにくかった	4	1.2%
わかりにくかった	0	0.0%
無回答	12	3.5%
総計	343	

問4 研修会の時間について、どう感じましたか。

区分	回答数	割合
長かった	46	13.4%
ちょうど良かった	273	79.6%
短かった	5	1.5%
無回答	19	5.5%
総計	343	

問5 研修会の開催時期は、いかがでしたか。

区分	回答数	割合
参加しやすい	197	57.4%
参加しにくい	22	6.4%
どちらともいえない	104	30.3%
その他	5	1.5%
無回答	15	4.4%
総計	343	

※主なご意見

月初めは、介護レセプトの作成や点検などのため忙しく、参加しにくい。
土曜や日曜日に開催すれば、より多くの方が参加できるのではないかと。

問6 研修会の開催場所は、いかがでしたか。

区分	回答数	割合
参加しやすい	243	70.8%
参加しにくい	22	6.4%
どちらともいえない	58	16.9%
その他	7	2.0%
無回答	13	3.8%
総計	343	

※主なご意見

催しが多く開催されていたためか駐車スペースを探すのに苦労した。
金沢だけでなく、能登や加賀でも開催してほしい。
Zoomの活用など、オンライン開催だと参加しやすいのではないかと。

問7 来年度以降、このような研修を開催した場合は、参加したいですか。

区分	回答数	割合
参加したい	251	73.2%
参加したくない	7	2.0%
どちらともいえない	72	21.0%
無回答	13	3.8%
総計	343	

問8 次回は、どのような内容を希望されますか。具体的にお書きください。

- 個別避難計画の策定や福祉避難所の運営方法などをより詳しく学ぶため、実際の取組事例の紹介や参加者同士が意見交換するオリエンテーションなどを取り入れた研修会を開催して欲しい。
- 本日の研修会では、個別避難計画、福祉避難所の運営、介護事業所などにおける業務継続計画、地区防災計画など様々な計画を学ぶ機会であったが、今後は、それぞれの計画などにテーマを絞って、より実践的な策定方法や手順を学ぶ研修会の開催を希望する。
- 個別避難計画に関わるべき、福祉専門職や民生委員、自主防災組織の関係者などによる連携体制を構築するための取り組みを学ぶ研修会
- 平常時における個別避難計画の策定、災害時における避難支援など、関係者がそれぞれの役割を学ぶ研修会を個別に開催
- 参加人数を絞って、少人数グループで実際に個別避難計画を策定する研修会
- 福祉避難所の開設から運営まで一連の流れを確認する研修会や訓練のほか、福祉避難所を運営するために必要となる人員配置や備蓄品などを学ぶ研修会
- コロナ禍における避難所運営のあり方や、ペット同伴者の適切な受け入れなどについて学ぶ研修会や訓練への参加を希望します。

問9 その他、本日の研修会の感想など、ご自由にお書きください。

- 多くの参加者の方々から、鍵屋先生の講演は、個別避難計画の作成例（マイタイムライン・地域タイムライン）の紹介のほか、東日本大震災の映像を取り入れ、内容もわかりやすく新たな避難支援制度に対する理解が深まったとのご意見を頂きました。
- 「正常化の偏見」を切り替えるためにも、個別避難計画などの策定や避難訓練の実施、心構えなど、日頃からの準備が非常に重要であることを気づかされました。
- 災害時における社会福祉施設の役割や地域との連携、また、福祉職や町会、自主防災組織、社協、民協、消防団、自治体などと協力体制を構築することが重要であると気づかされた。
- 講演の内容を地域や職場で共有し、個別避難計画の策定など、できることから取り組みをはじめようと思いました。
- 日頃から気にかけていた内容であり、また、参加者からの質問にも丁寧に回答いただき、とても有意義な研修会でした。
- 地域によっては、住民間の温度差があり、防災への関心を高めるための取り組みが必要、社会福祉施設には、業務継続計画や非常災害対策計画の策定に加え、昨今のコロナ対策など求められている取り組みが多いがマンパワーが足りないなどの課題も寄せられました。
- 市町と地域、福祉の連携の具体例をより詳しく紹介して頂くほか、個別避難計画などの雛形なども示してほしかった。
- 報告事項の説明は早口で聞き取りづらく、もう少しポイントを絞って説明して欲しい。
- 個別避難計画や地区防災計画などの様々な計画の策定が求められているが、各種計画の共通性、目的や内容の違いなど整理突合できないものか。

上記のほか、様々なご意見をいただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。